

2013年3月期 決算説明会

フロンティア 70

2013年5月22日

株式会社 **千葉銀行**

(東証第1部：8331)

≫ 業績の概要

業績概要	3
資金利益	4
貸出金の状況	5
有価証券の状況	6
役務取引等利益	7
経費	8
与信関係費用	9
2014年3月期 業績計画	10
自己資本	11

≫≫ 営業戦略

地域の成長ポテンシャル	13
店舗戦略	14
個人向けチャネル戦略	15
住宅ローン	16
無担保ローン	17
証券業務	18
法人顧客基盤	19
成長分野に対する取組	20
国際業務	21
IT戦略	22
資本政策	23
創立70周年記念事業	24

≫ 業績の概要

≫ ≫ 営業戦略

連結	(億円)	12/3期	13/3期	前期比	計画比
連結経常利益		669	727	58	37
連結当期純利益		407	441	33	21

単体	(億円)	12/3期	13/3期	前期比	計画比	
業務粗利益		1,533	1,524	△ 8	△ 10	
資金利益		1,345	1,301	△ 44	△ 8	p.4
役務取引等利益		145	154	9	4	p.7
特定取引利益		14	13	△ 1	△ 1	
その他業務利益		27	54	27	△ 5	
うち債券関係損益		9	38	29	△ 1	
経費(△)		812	818	5	△ 11	p.8
実質業務純益		720	706	△ 13	1	
コア業務純益		710	667	△ 43	2	
一般貸倒引当金繰入額(△)		-	△ 27	△ 27	△ 2	p.9
業務純益		720	733	13	3	
臨時損益		△ 102	△ 69	33	20	
うち不良債権処理額(△)		22	117	95	22	p.9
うち株式等関係損益		△ 92	9	101	42	
経常利益		617	664	46	24	
特別損益		△ 7	△ 5	2	1	
当期純利益		360	412	52	12	
与信関係費用(△)		22	89	67	19	p.9

連結当期純利益は4期連続で増益

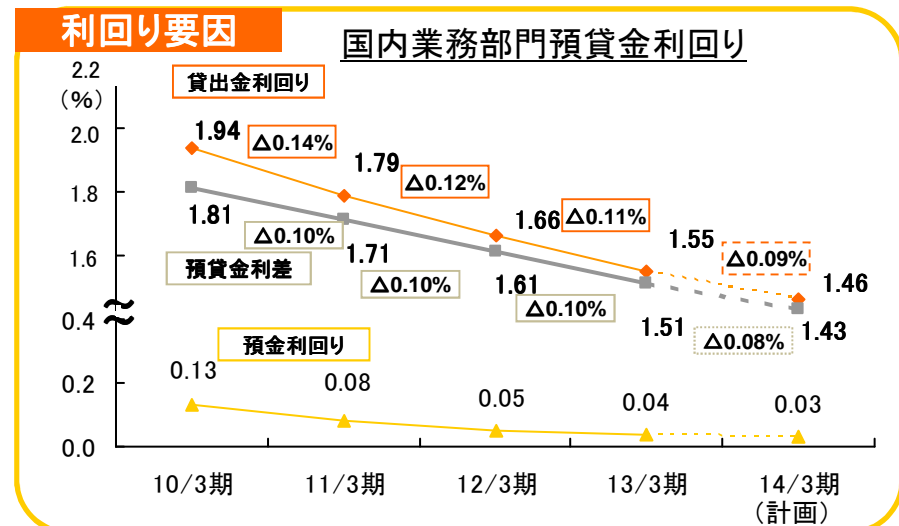
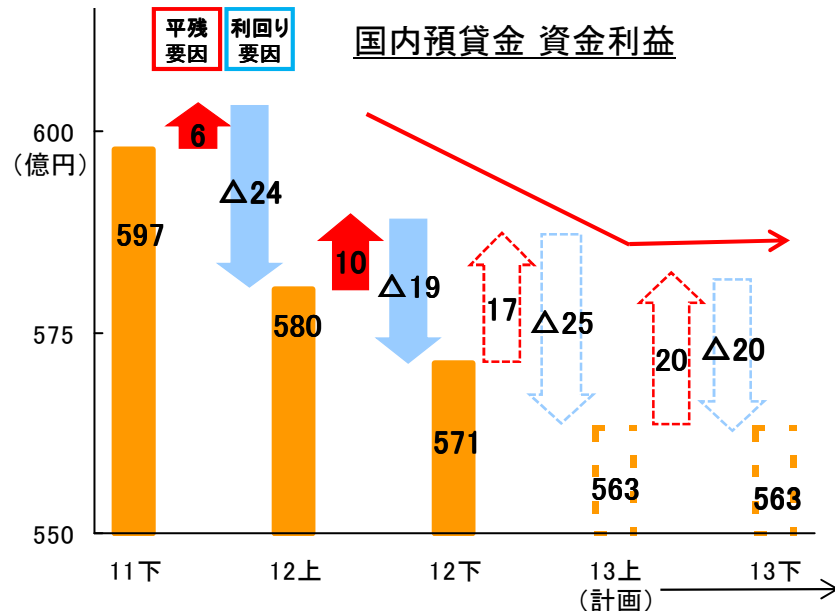
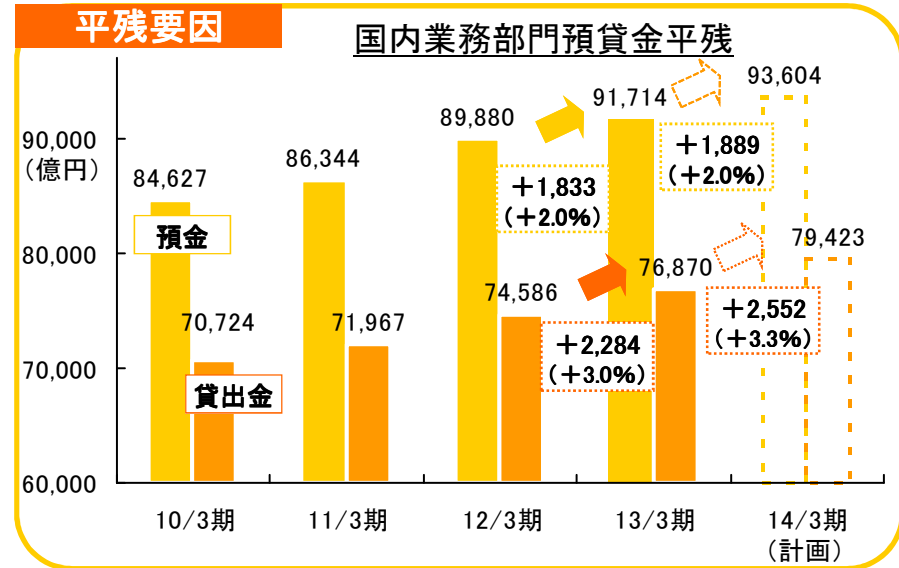
- ✓ 連結経常利益は
前期比+58億円の727億円
- ✓ 連結当期純利益は
前期比+33億円の441億円
- ✓ 当期純利益の連単差は29億円

銀行単体でも計画を上回る着地

- ✓ コア業務純益は
前期比△43億円の667億円
(計画比+2億円)
- ✓ 経常利益は
前期比+46億円の664億円
(計画比+24億円)
- ✓ 当期純利益は
前期比+52億円の412億円
(計画比+12億円)

国内預貸金の資金利益は下期に底打ちを計画

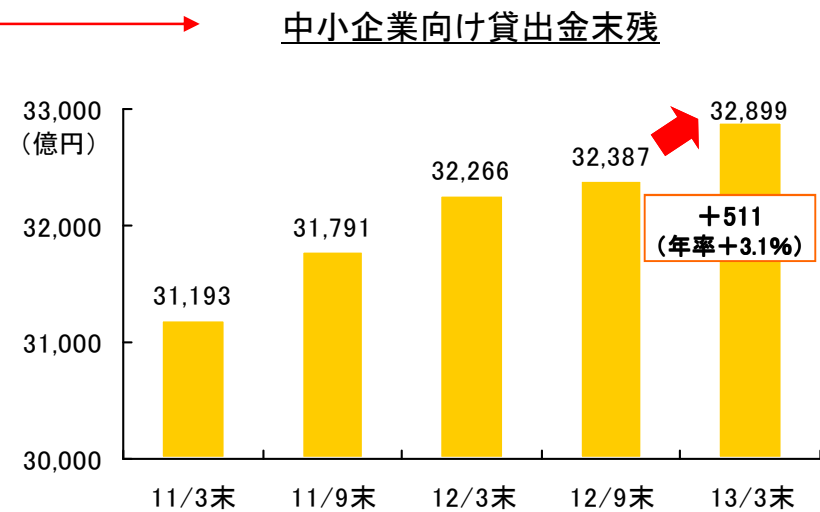
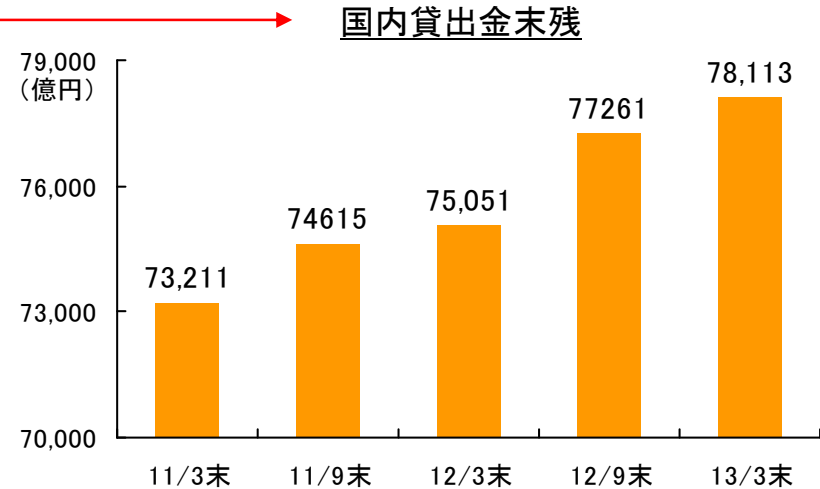
(億円)	12/3期	13/3期	前期比
資金利益	1,345	1,301	△ 44
国内業務部門	1,314	1,263	△ 50
うち預貸金	1,194	1,151	△ 42
貸出金利息	1,244	1,193	△ 50
預金利息	50	42	△ 7
うち有証利息配当金	141	135	△ 5
国際業務部門	31	37	6



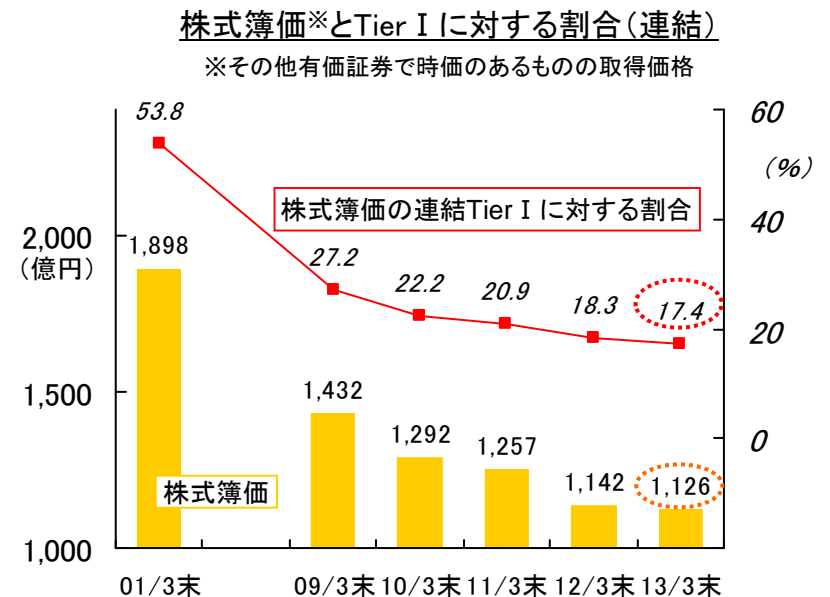
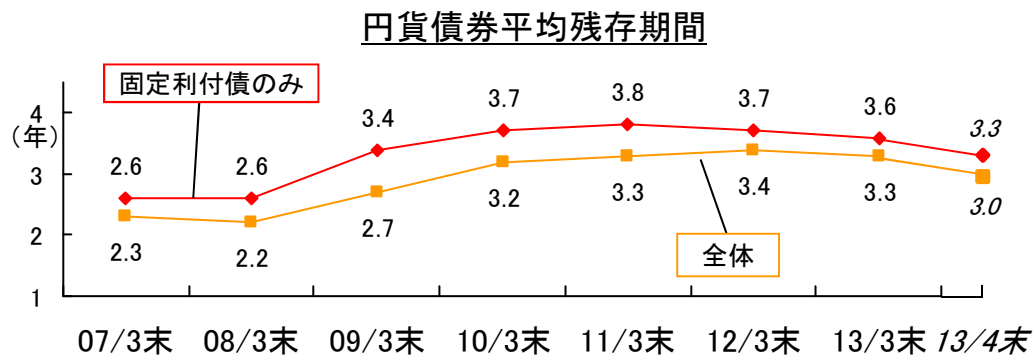
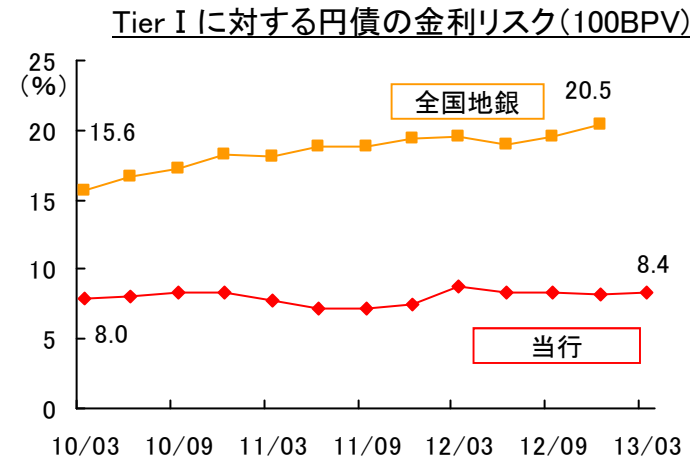
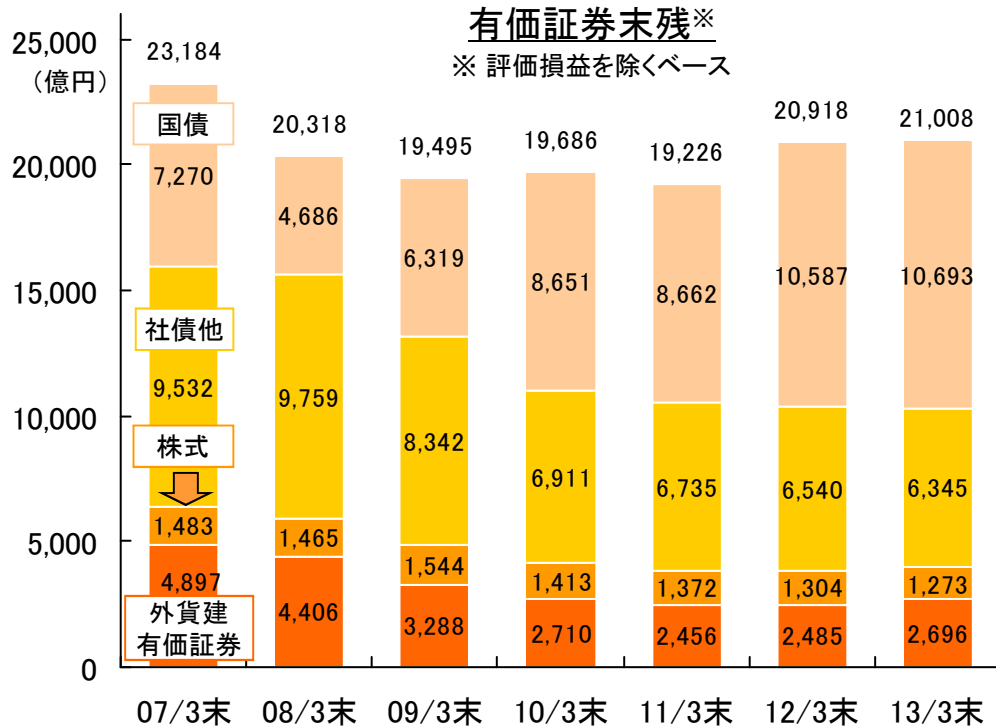
国内貸出金は順調に増加、中小企業向け貸出金も堅調

(億円)	12/3末	13/3末	前期末比	増減率
国内貸出金	75,051	78,113	3,062	4.0%
除く公共	72,173	74,975	2,802	3.8%
事業者向け	44,666	46,245	1,578	3.5%
大・中堅企業	12,400	13,346	946	7.6%
中小企業	32,266	32,899	632	1.9%
消費者ローン	27,506	28,730	1,223	4.4%
うち住宅ローン	26,586	27,822	1,236	4.6%
公共	2,878	3,137	259	9.0%
国内貸出金	75,051	78,113	3,062	4.0%
千葉県内店	56,729	58,065	1,335	2.3%
県外店	18,321	20,048	1,726	9.4%
大企業向け店舗 (県外特別店*)	11,953	12,625	671	5.6%
個人・中小企業向け店舗 (県外特別店*以外)	6,368	7,422	1,054	16.5%

(※)東京営業部、新宿支店、大阪支店

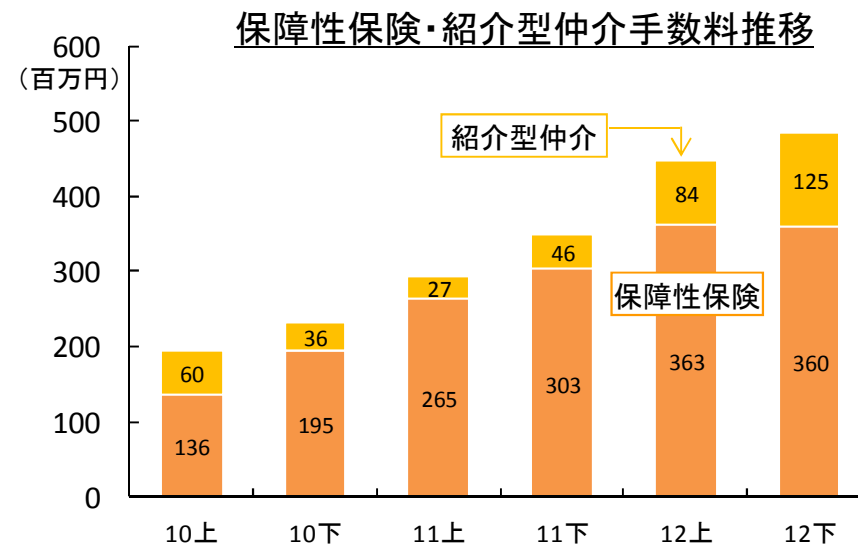
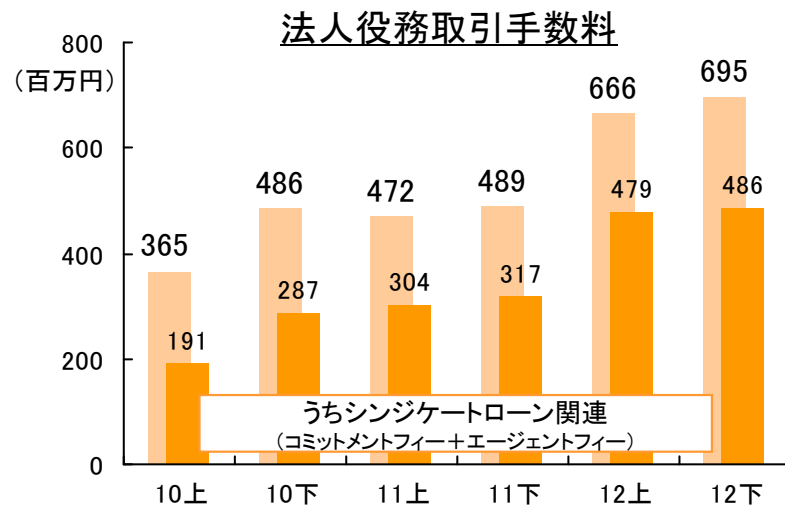
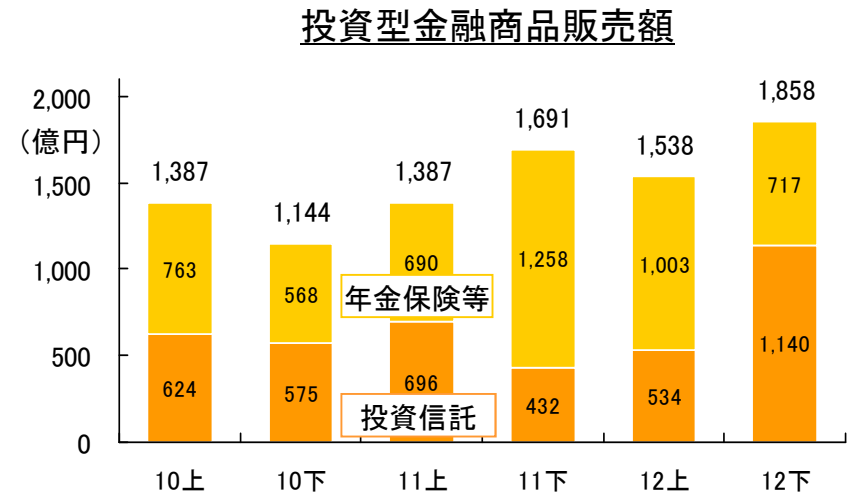


金利リスクを抑えた運用方針でリスクコントロールを徹底



株式投資信託販売が好調、役務取引等利益は堅調に増加

(億円)	12/3期	13/3期	前期比
役務取引等利益	145	154	9
役務取引等収益	324	335	11
うち預かり資産関連手数料	93	93	△ 0
うち投信手数料	44	52	8
うち保険手数料	49	41	△ 8
うち保障性保険手数料	5	7	1
うち法人役務取引手数料	9	13	3
役務取引等費用	179	181	1
うち支払保証料・団信保険料	108	112	3

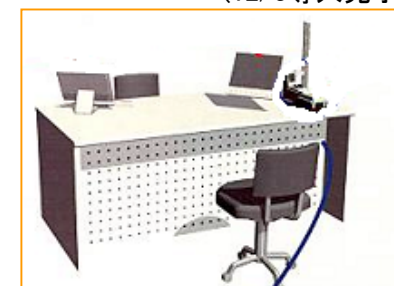


成長に必要な投資を積極的に実施しつつ、今期も更なる経費削減を図る

(億円)	12/3期 (実績)	13/3期 (実績)	前期比	計画比	14/3期 (計画)	前期比
経費	812	818	5	△ 11	815	△ 3
人件費	412	411	△ 1	1	410	△ 1
物件費	358	366	7	△ 11	361	△ 5
税金	41	41	△ 0	△ 0	44	3

✓ 新営業店システム導入

(12/3導入完了)



経費の主な増減要因

(億円)	13/3期(実績)	14/3期(計画)
人件費	△ 1 人員減による減少(△3) 退職給付費用(+1)	△ 1 人員構成変化による減少(△1)
物件費	+ 7 新営業店システム更改(+7) 店舗新設・リニューアル関連(+2) 新規事業投資(+1) 過年度ポイント引当金戻入影響(+6) 預金保険料還付(△12)	△ 5 店舗リニューアル関連(+5) 新営業店システム減価償却費(△9)
税金		+3 消費税(+2)

✓ 店舗新設等

・蘇我事務センタービル新設(12/6)



・鴨川支店リニューアル(13/3)



不良債権の新規発生額は低位で推移、保守的な貸倒引当金積み増しを実施

(億円)	11/3期 (実績)	12/3期 (実績)	13/3期 (実績)	前期比	14/3期 (見込み)	前期比
与信関係費用	103	22	89	67	50	△ 39
一般貸倒引当金純繰入額	△ 4	△ 79	△ 27	52	0	27
不良債権処理額	108	102	117	15	50	△ 67
貸出金償却等	162	134	153	18	85	△ 68
うち新規発生	145	133	125	△ 7	100	△ 25
うち担保下落等	24	10	15	4	10	△ 5
うち回収等	△ 18	△ 18	△ 28	△ 10	△ 20	8
償却債権取立益	△ 54	△ 32	△ 35	△ 3	△ 35	0

(注)
左表では過去との比較上、貸倒引当金戻入益をそれぞれ一般貸倒引当金純繰入額及び個別貸倒引当金純繰入額に分けて表示。

与信費用比率	14bp	2bp	11bp		6bp
--------	------	-----	------	--	-----

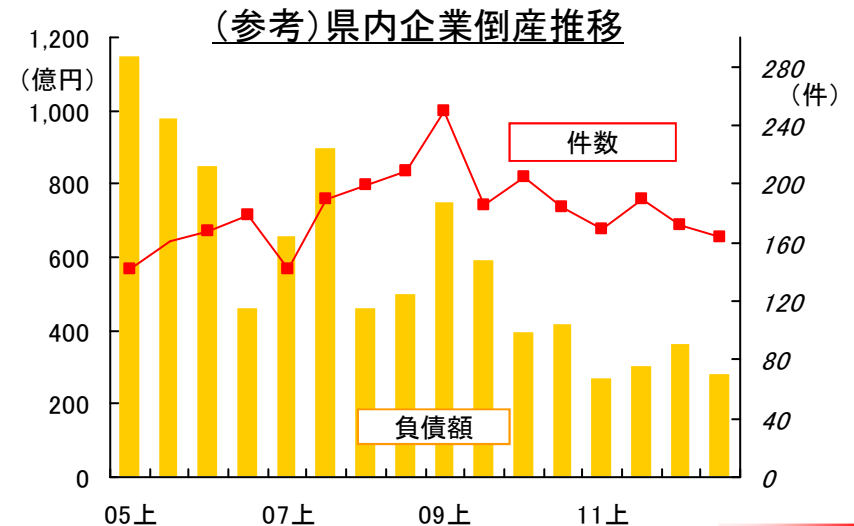
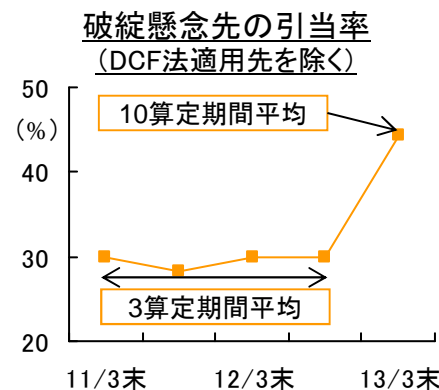
○貸倒引当率の変更による影響額

✓ 単体 +56億円

- 一般貸倒引当金 +11億円
- 個別貸倒引当金 +45億円

✓ 連結 +64億円

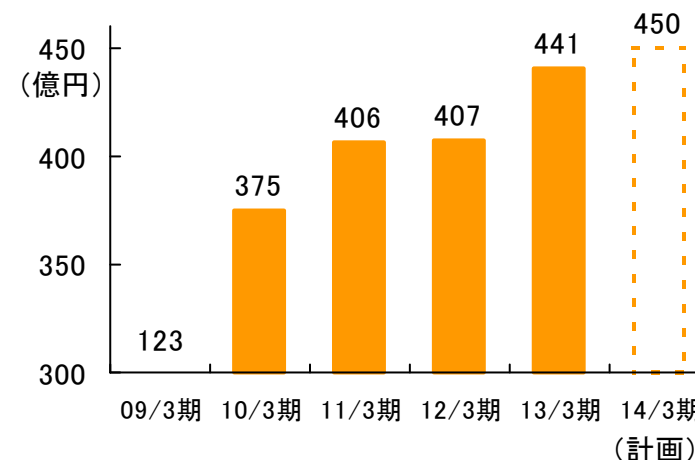
ちばぎん保証 +8億円



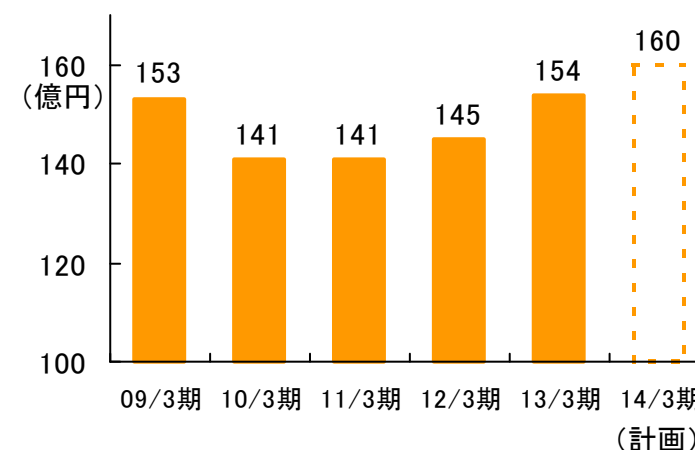
連結	(億円)	13/3期	14/3期	
			(計画)	前期比
連結経常利益		727	740	12
連結当期純利益		441	450	8

単体	(億円)	13/3期	14/3期	
			(計画)	前期比
業務粗利益		1,524	1,515	△ 9
資金利益		1,301	1,280	△ 21
役務取引等利益		154	160	5
特定取引利益		13	20	6
その他業務利益		54	55	0
うち債券関係損益		38	35	△ 3
経費(△)		818	815	△ 3
実質業務純益		706	700	△ 6
コア業務純益		667	665	△ 2
一般貸倒引当金繰入額(△)		△ 27	0	27
業務純益		733	700	△ 33
臨時損益		△ 69	△ 20	49
うち不良債権処理額(△)		117	50	△ 67
うち株式等関係損益		9	0	△ 9
経常利益		664	680	15
特別損益		△ 5	△ 5	△ 0
当期純利益		412	420	7
与信関係費用(△)		89	50	△ 39

連結当期純利益は450億円を計画
— 5期連続の増益へ

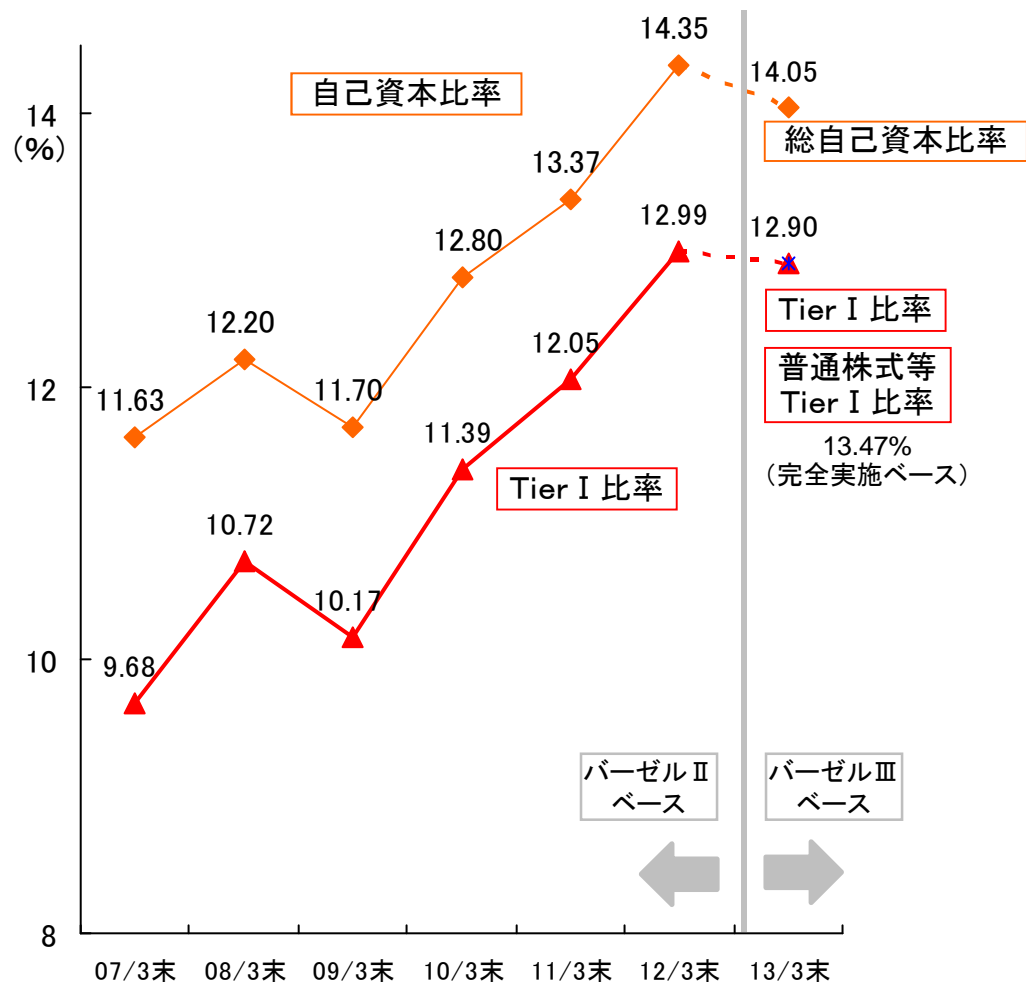


役務取引等利益は160億円を計画



自己資本は質・量ともに健全な水準

連結自己資本比率



総自己資本比率の主な変動要因

- ✓ 当期純利益 (+0.92%)
- ✓ 株主還元 (△0.41%)
- ✓ 劣後調達償還 (△0.90%)
- ✓ 信用リスクアセットの増加 (△0.28%)
- ✓ 有価証券含み損益の改善 (+0.69%)
- ✓ バーゼルⅢへの基準変更要因 (+0.19%)

自己資本・リスクアセット等(連結)

	(億円)
総自己資本	7,024
うち Tier I	6,452
うち 普通株式等 Tier I	6,452
リスクアセット等	49,998
信用リスク	46,164
マーケットリスク	666
オペレーショナルリスク	3,012

≫ 業績の概要

≫ ≫ 営業戦略

地理的優位性により、多くの開発案件が進行

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

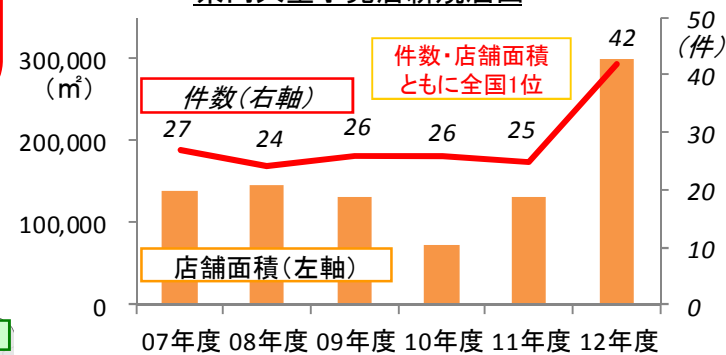
13年4月27日開通 木更津東IC～東金IC・JCT 42.9Km

13年度以降開通予定 大栄JCT(仮称)～稲敷IC 20.5Km



大型小売店の出店

大店法に基づく
県内大型小売店新規届出



企業進出

物流拠点の集積

東京湾岸・柏など

通販事業者等による物流倉庫新設
市川塩浜は地価上昇率全国1位※

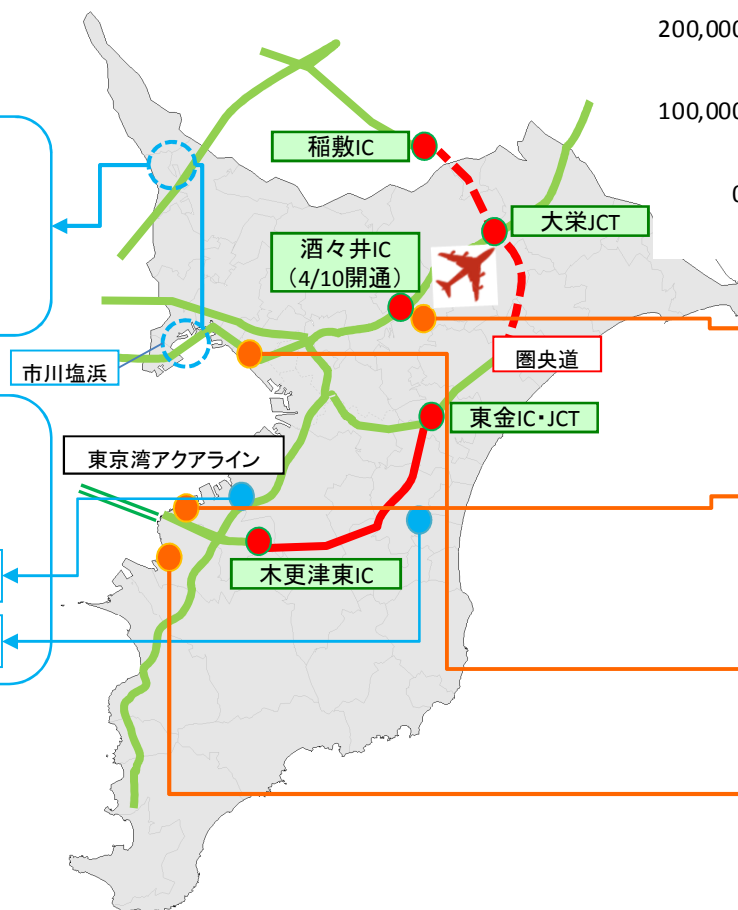
※工業地、2013年公示地価(2013年1月1日時点)

**千葉県による
10年ぶりの工業団地造成**

13年着工、17年分譲開始

袖ヶ浦椎の森工業団地(2・3期)

茂原にいはる工業団地



**しすい
酒々井プレミアム・アウトレット**

13年4月オープン

121店舗、新規雇用約1,000人

三井アウトレットパーク木更津

12年4月オープン

171店舗(第2期 + 約50店舗、14夏オープン予定)

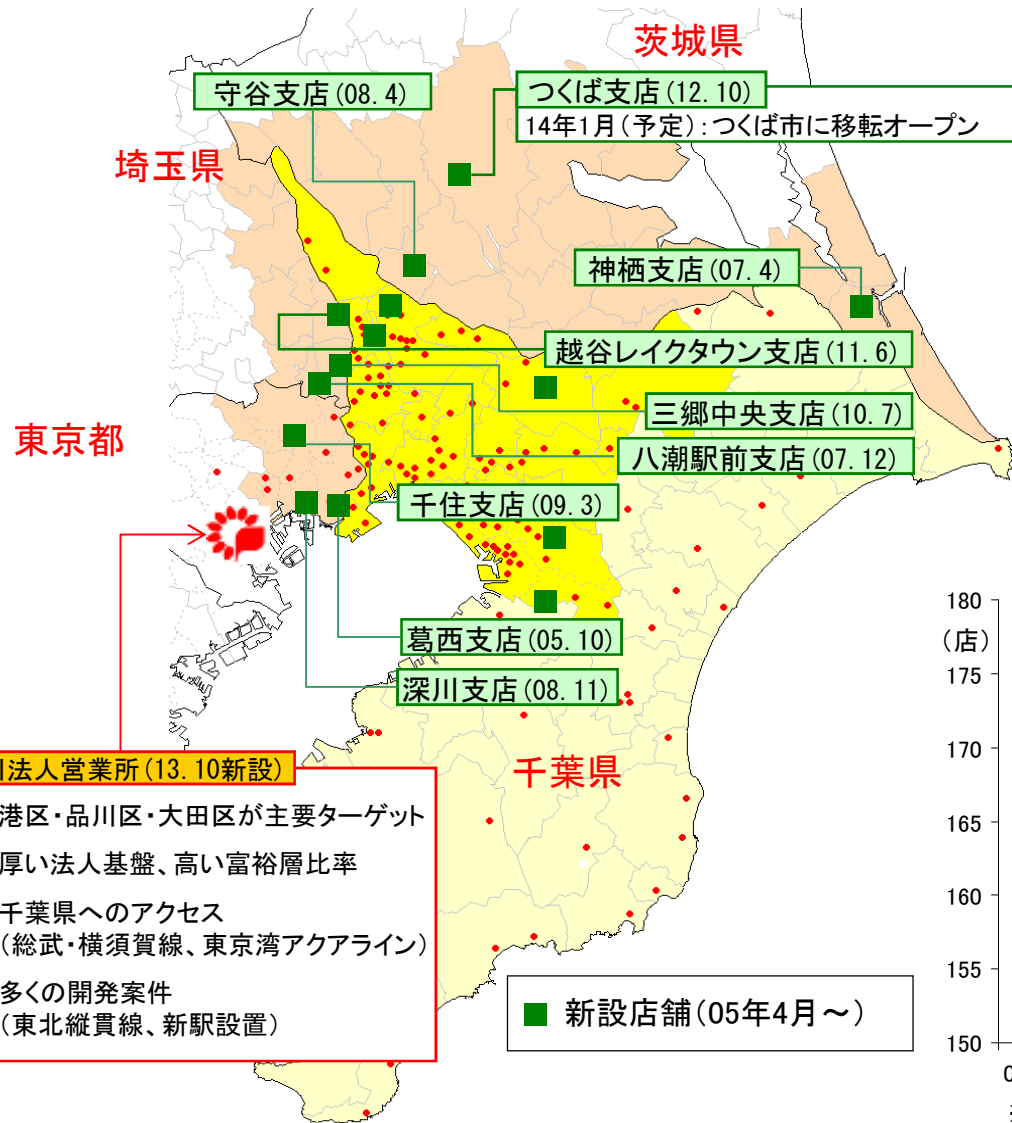
イオンモール幕張新都心

13年12月オープン予定

(仮称)イオンモール木更津

14年秋オープン予定

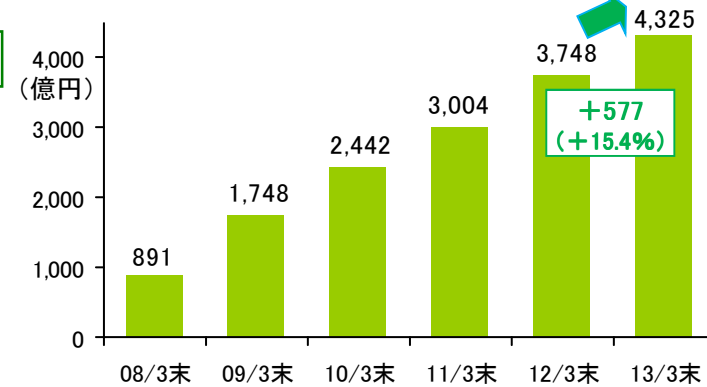
「広域千葉圏」の成長地域へ積極的に出店、今後は東京23区を中心に店舗展開



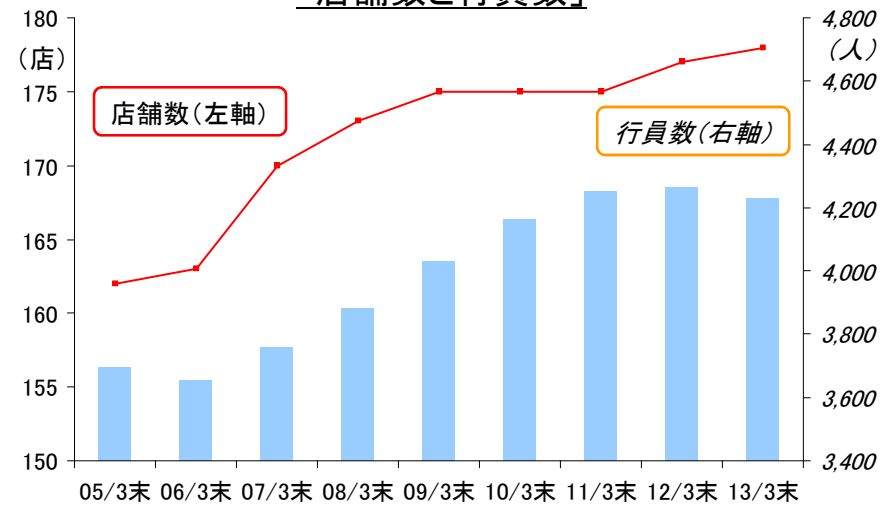
- 品川法人営業所(13.10新設)**
- 港区・品川区・大田区が主要ターゲット
 - 厚い法人基盤、高い富裕層比率
 - 千葉県へのアクセス (総武・横須賀線、東京湾アクアライン)
 - 多くの開発案件 (東北縦貫線、新駅設置)

■ 新設店舗(05年4月～)

新設店舗貸出金残高



「店舗数と行員数」



※店舗数は、特別出張所、出張所、仮想店舗を含む

新たなかたちの個人向け店舗を展開、ダイレクトチャネルも充実させ顧客接点を強化

個人特化型軽量店舗の展開

- 「ちばぎんひまわりラウンジ津田沼」
(13/12新設)



- ✓ JR津田沼駅南口
- ✓ 区画整理進行
- ✓ 高層マンション開発
- ✓ 大型商業施設進出



- 営業時間の延長、土日・祝日も営業
- ファミリー層をターゲット
- 「相談ゾーン」
… 個室型ブースによる資産運用相談を強化
- 「セルフゾーン」 ⇒ 事務の省力化
… ATMの他、電子記帳台・セルフ収納機で無人化

ダイレクトチャネルの強化

- 「ちばぎんマイアクセス」リニューアル
・インターネットバンキング・モバイルバンキング
操作性向上
- 「インターネットサービス」の拡大
・インターネットバンキング未契約者用
残高照会サービス
- 無担保ローン推進チャネルの整備
・申込フォームのリニューアル
・スマートフォン用申込フォーム対応
・ホームページ改善
・インターネット広告強化

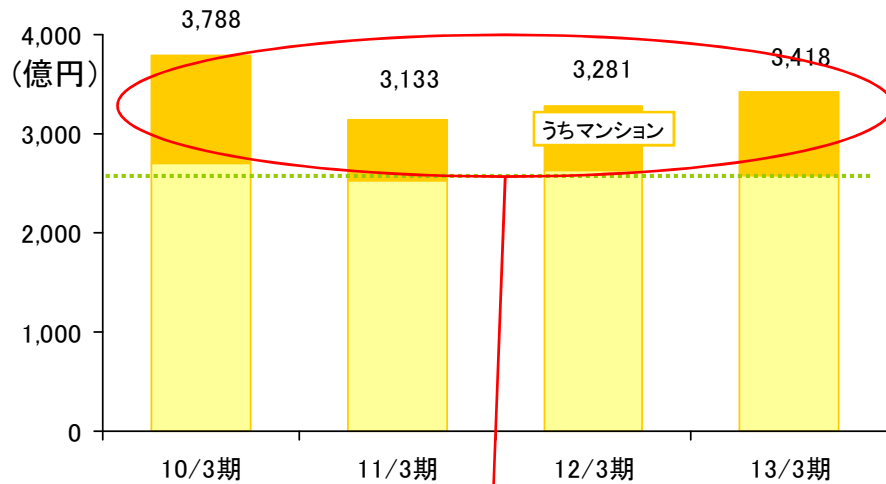
インターネットサイトランキング
地銀・第二地銀中1位※

※モーニングスター・ゴメスコンサルティング事業部
によるランキング

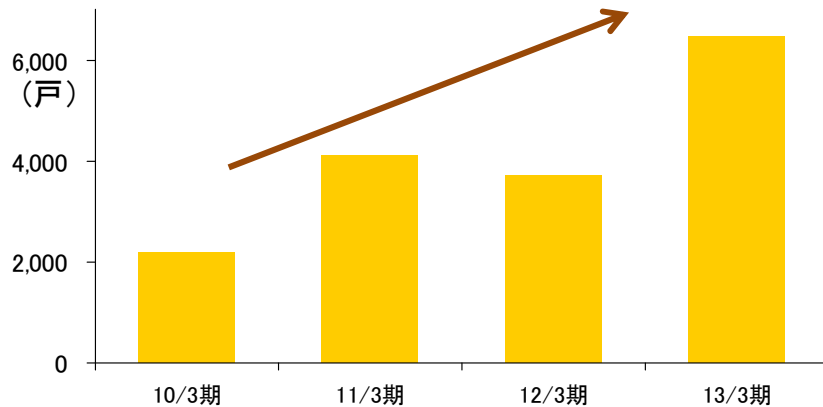


県内の住宅需要は引き続き旺盛、案件を積極的に取り込むと共に業務合理化も実施

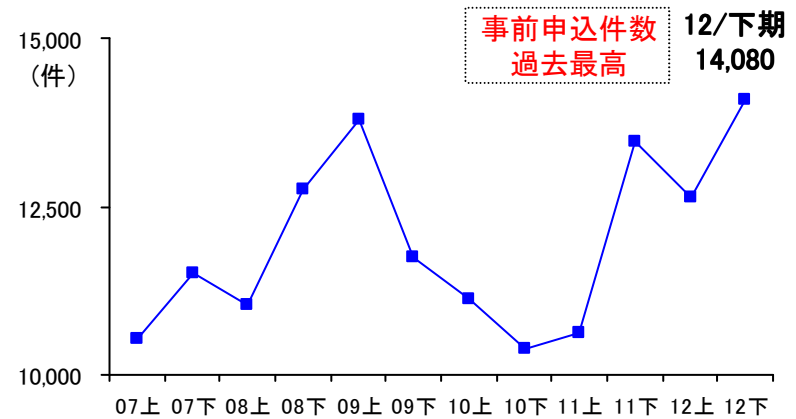
住宅ローン実行額



千葉県分譲マンション着工戸数



事前申込件数



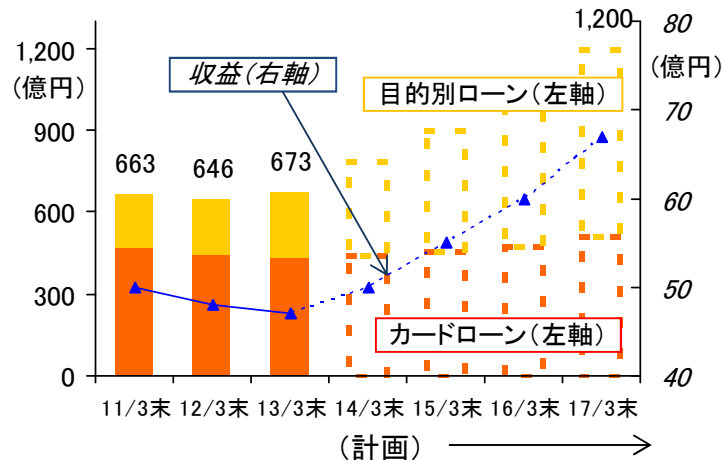
住宅ローン業務の効率化

- ✓ 申込書類改定等、手続効率化
- ✓ 大規模分譲案件に係るローンセンターの機能見直し
○ 決裁権限・実行事務を営業店から本部へ
- ⇓
- ✓ 営業店事務の合理化
⇒ 営業店は事務から推進へ
- ✓ 審査のスピードアップ
⇒ 回答の早期化、案件取りこぼしの防止

無担保ローン、クレジットカード事業の強化により収益増強を計画

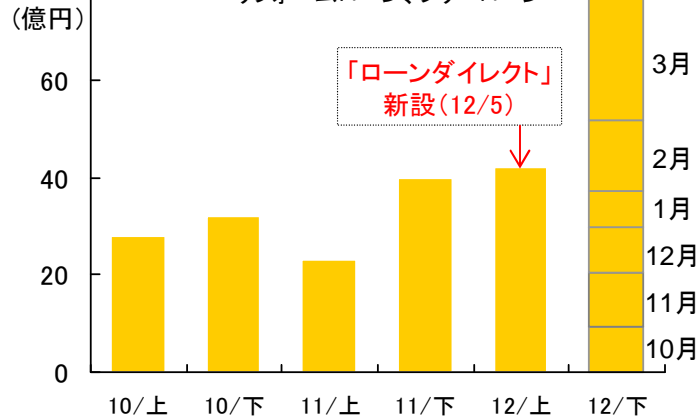
無担保ローン強化により収益増加

無担保ローン残高、収益計画



無担保ローン※実行額

※マイカーローン、教育ローン、
リフォームローン、フリーローン

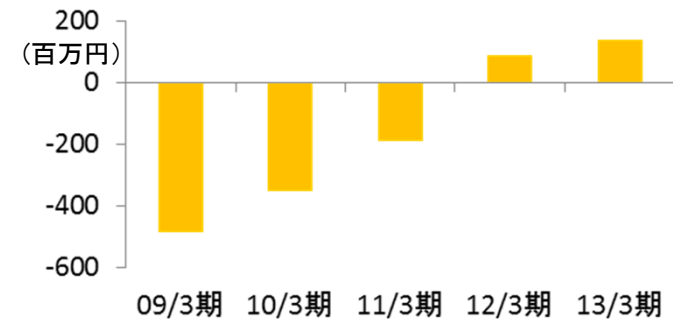


クレジットカード業務の強化

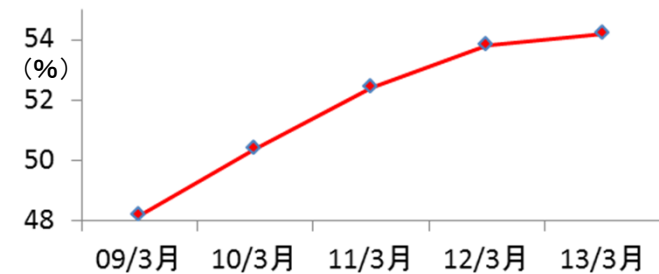
✓ お客さまへのサービスを強化

- ・完全ペーパーレスオンライン入会サービス(地銀初)
- ・「地域優待サービス」特典企業10社を追加
(累計18社1,800店舗)

✓ クレジットカード事業収支

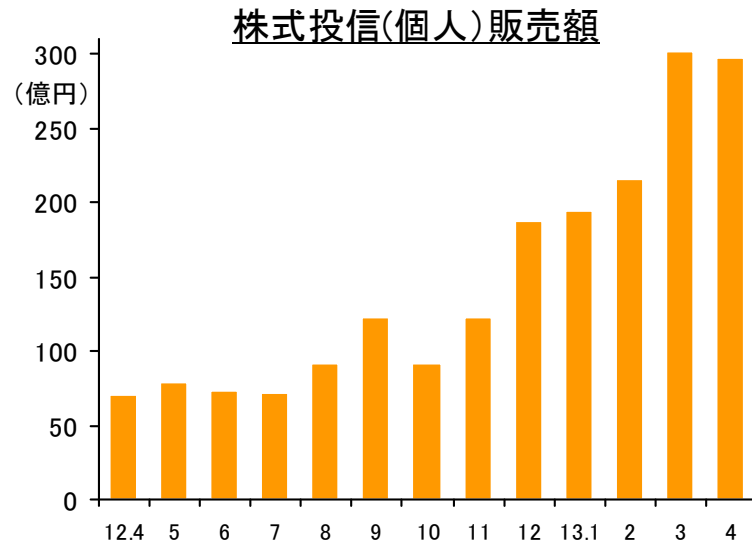


✓ カード月間稼働率は向上(月中平均)

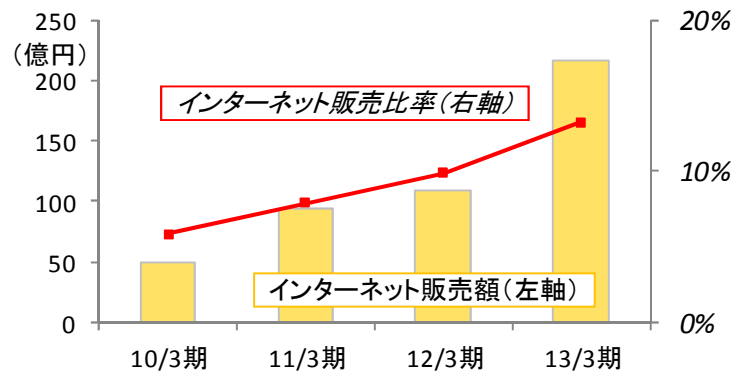


株式投信販売好調、グループ全体としての証券業務拡大を図る

金融商品販売



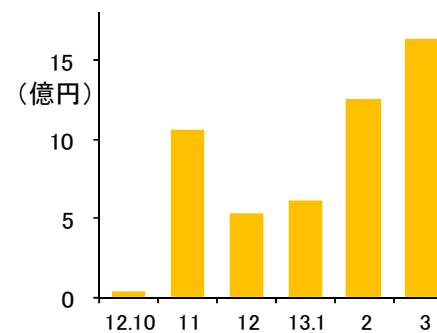
株式投信のインターネット販売



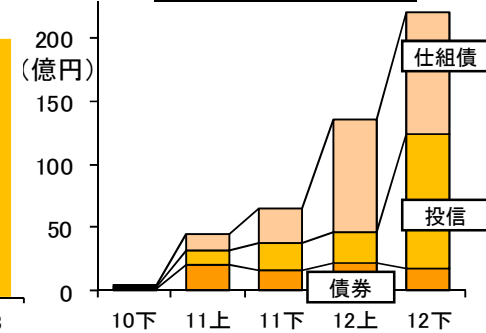
銀証連携

OPBチームは設置当初から好調な販売
 ○顧客紹介が定着し、ちばぎん証券での販売は好調

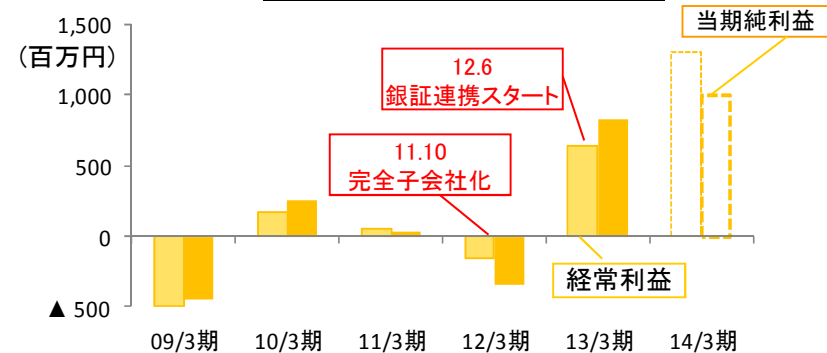
PBチーム実績



紹介型仲介実績



ちばぎん証券の業績推移



メインバンク調査で地方銀行トップ、オーナー取引まで多様なサービスを提供

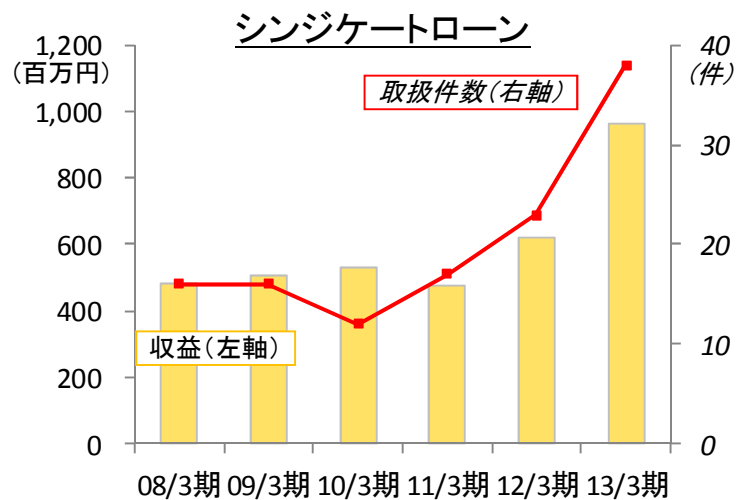
事業性融資先数:約4万先

- ・取引先の約半数が当行をメインバンクとして取引

メインバンク調査(地方銀行)

順位	銀行名	12年	増減	11年
		社数		社数
1位	千葉	20,275	667	19,608
2位	西日本シティ	19,688	530	19,158
3位	福岡	18,743	709	18,034
4位	静岡	16,747	268	16,479
5位	中国	15,323	444	14,879
6位	横浜	15,091	233	14,858

※出所:帝国データバンク



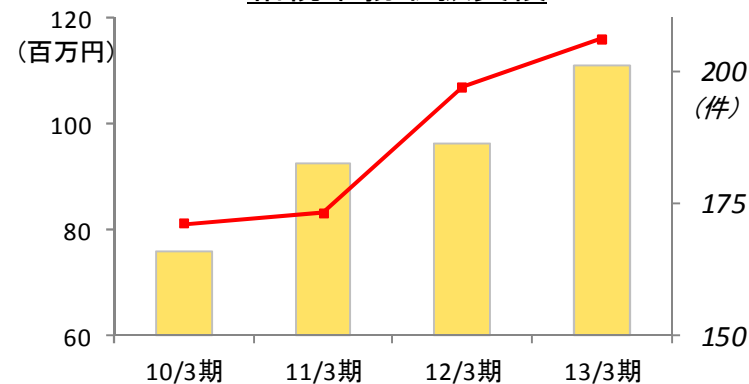
企業オーナー取引

○ 2006年6月 銀行本体で取扱開始 **地銀初**

- 遺言作成サポートサービス
- 財産目録の作成
 - 遺産の概算評価
 - 事業承継
 - 納税資金の確保

- 遺言信託
- 公正証書遺言の作成・保管
 - 遺言執行

相続業務取扱実績



○ 2010年6月 ロンバーオディエ(日本法人)と業務提携



設立	1796年
本部所在地	ジュネーブ
拠点数	17ヶ国24ヶ所
預り資産残高	1,890億スイスフラン
従業員数	約2,000名

成長分野に専担者を配置、貸出金残高や収益は順調に拡大

成長ビジネスサポート室

医療・介護

農業 「ちば農林漁業6次化ファンド」(13.5設立)

- ・GP:ちばぎんキャピタル
- ・総額20億円
- ・県内本拠の金融機関全てが参加

環境

情報

ビジネスマッチング手数料

09/3期 10/3期 11/3期 12/3期 13/3期

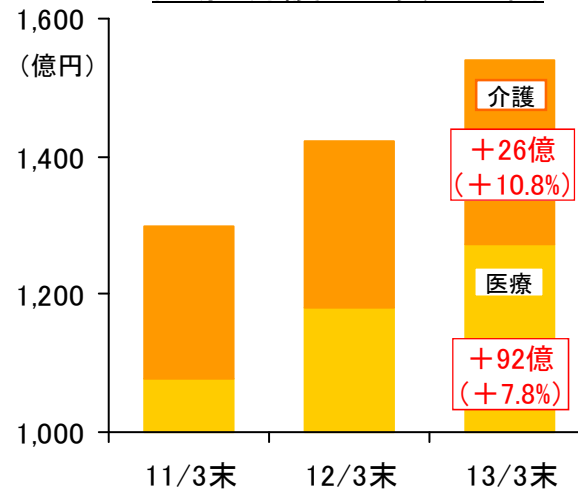
観光

社会インフラ (PFI)

- ✓ アレンジャー24件の実績は地銀首位
- ✓ 融資残高297億円(13/3月末)

国際業務 p21

医療・介護向け貸出残高



県の病床配分は大きなチャンス

12年3月

54機関/3,206床

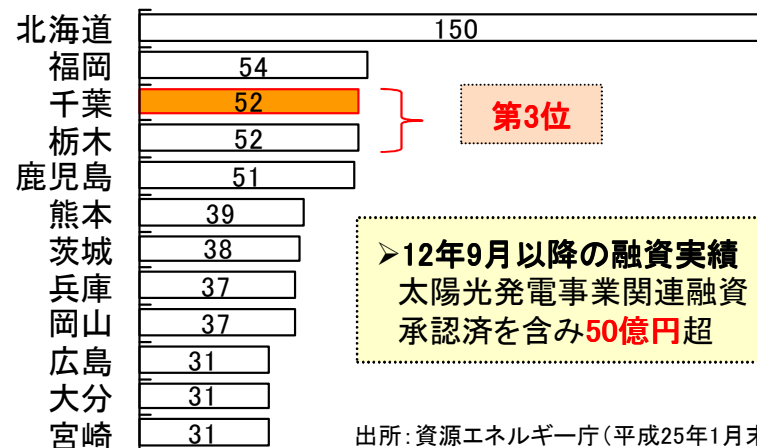
+

13年3月

9機関/446床

再生可能エネルギー設備認定件数

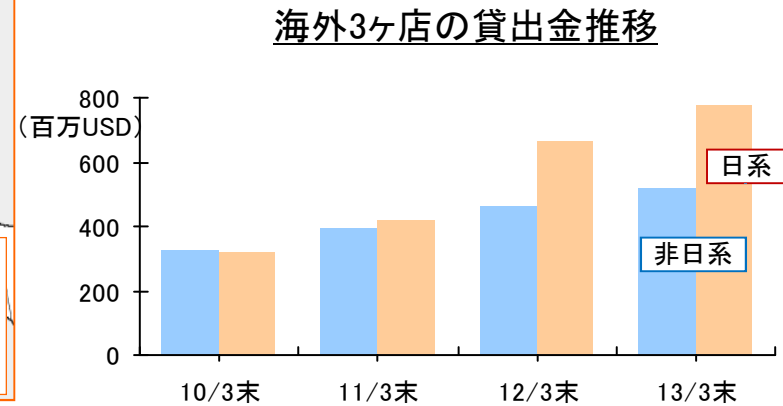
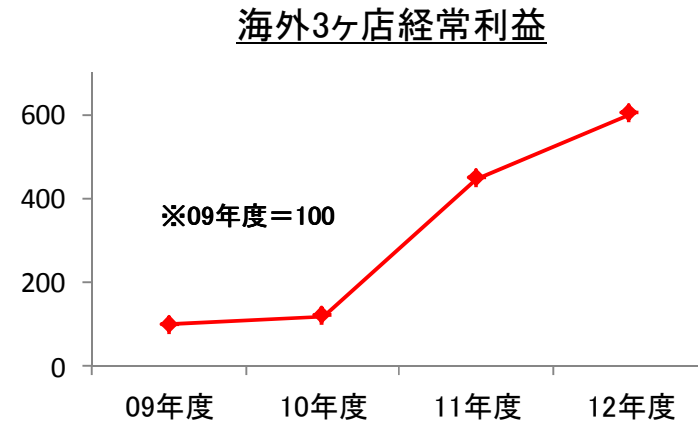
(太陽光メガソーラー1,000kW以上)



12年9月以降の融資実績
太陽光発電事業関連融資
承認済を含み50億円超

出所: 資源エネルギー庁(平成25年1月末現在)

海外店や提携先を活用し、海外店の日系企業向け貸出は順調な伸長



多様な提携先とのお客さまサポート態勢

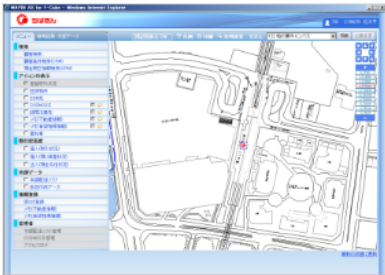
<p>物流</p> <p>日本通運株式会社</p>	<p>海上保険等</p> <p>日本興亜損害保険株式会社</p>	<p>貿易保険</p> <p>独立行政法人 日本貿易保険</p>	<p>国際ビジネス振興</p> <p>千葉県・千葉市</p>	<p>個別マッチング・商談会</p> <p>香港貿易発展局</p>
----------------------------------	---	---	---------------------------------------	--

効果的なIT投資を継続、TSUBASAプロジェクトも順調に進捗

営業力強化

○地図情報システムの導入

新営業店システムのCRMと連携



- ✓ 訪問準備効率化
- ✓ 訪問件数増加
- ✓ 情報の継続的活用



- 取引に応じた世帯の色塗り
- 担保価格の確認や面談記録
- 周辺の不動産売り情報の確認

営業担当者の
スキル底上げ

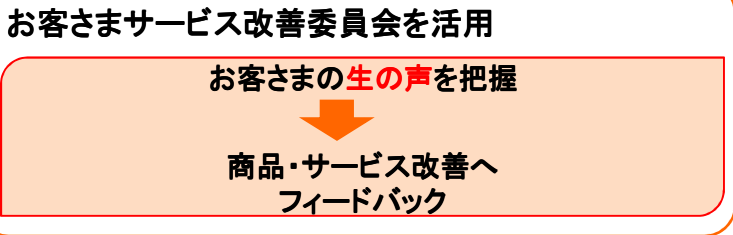
○タブレット式モバイル端末の増設



顧客提案均質化
投資型金融商品
販売強化

業務合理化

○ATM機能改善



TSUBASAプロジェクト

○基幹系システム共同化(12年10月合意)

- 16/1導入予定 ちばきん
- 17/1導入予定 第四銀行
- 17/5導入予定 中国銀行



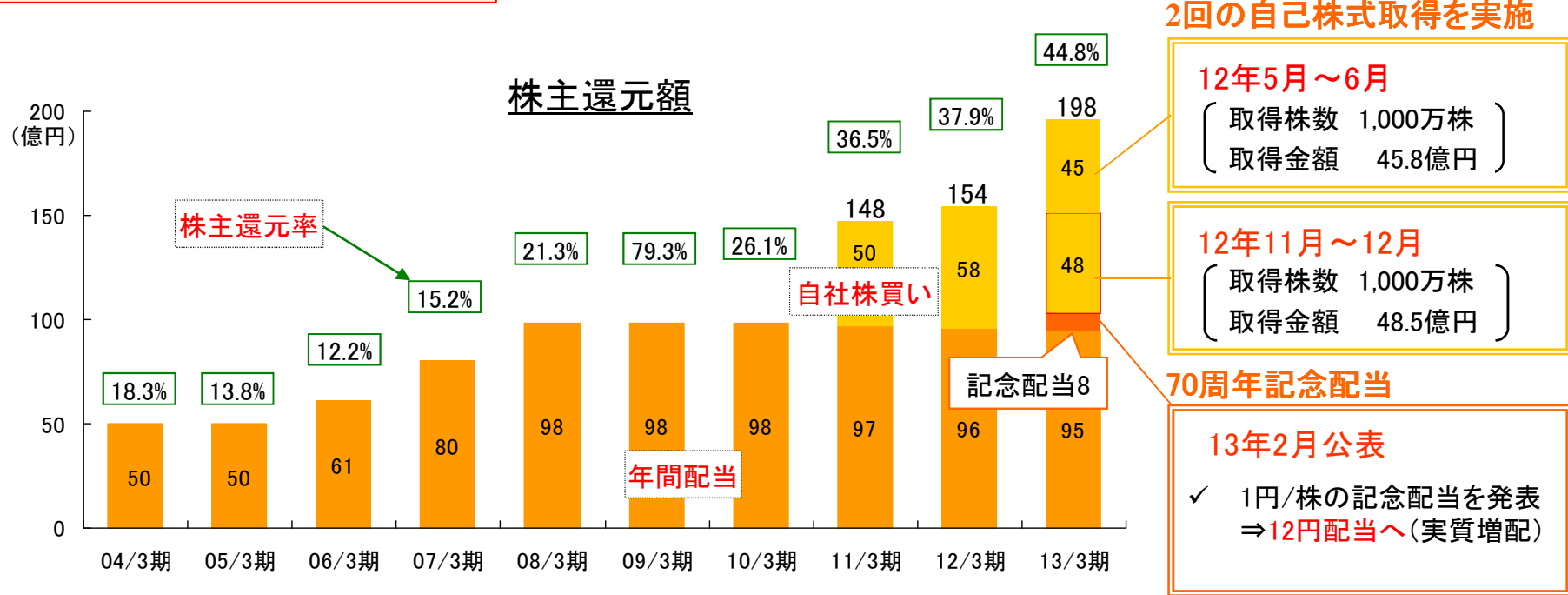
年間約5億円のコスト削減
(単独開発の場合との比較)

成長に向け資本を有効活用するとともに柔軟な株主還元を実施、70周年記念配当で1円増配

成長に向けた「資本の有効活用」



柔軟な株主還元



地域貢献活動を中心に創立70周年記念事業を実施

「ひと」の未来を育む

・「ちばぎん金融資料室」の設置
(13.4実施)

当行および前身銀行を中心とした千葉県の金融史を紹介する場、及び、小学生等の金融教育の場として、金融資料室を設置しました。



・「移動採血車(献血バス)」の寄贈
(13.3実施)

従来より、日本赤十字社千葉県支部と連携し、災害用毛布やAED訓練人形などを整備。今般移動献血車を1台寄贈。



「環境」の未来を育む

・「ちばぎんの森(第4)森林整備活動」
(13.2実施)

マツ食い虫や東日本大震災の津波で被害を受けた海岸保安林の再生を目的に、蓮沼海岸の植樹活動を実施しました。



・「ちばぎん ひまわり憩いの広場」の設置
(13.2実施)

木更津支店跡地の有効活用
店外ATM及び駐車場を新設し、
江戸風情の多目的広場を整備。



「産業」の未来を育む

・「学生版ビジネスアイデアコンテスト」
(12.10より)

起業家志向向上を図り、地域の産業および経済の発展に寄与することを目的として開催。

優秀賞1プラン(30万円)、奨励賞2プラン(10万円)

・「ちばぎん・研究開発助成制度」
(13.4募集)

千葉大学、千葉工業大学の研究成果と中小企業自らの技術・商品開発ニーズをマッチングし、早期に事業・商品化することを目指し創設。

・「蘇我事務センタービル」の建設
(12.6実施)

照明のLED化や太陽光発電設備、屋上緑化などを導入、環境に配慮。



株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL 043-245-1111 (代表)

<http://www.chibabank.co.jp>